ペシャワール会にご協力を

（パキスタンに派遣される中村先生）

福岡ＹＭＣＡ会員の医師中村哲先生（三六才）はＪＯＣＳ（日本キリスト教海外医療協力会）からパキスタンの北西辺境州ペシャワールに医療協力のために派遣されることになりました。

中村先生はペシャワールで、長期にわたってハンセン氏病（らい病）を中心とする診療にあたられる予定です。

そこで本会理事の問田直幹先生や小林総主事も発起人となって中村先生の働きを支援する会「ペルシャワール会」を結成しました。七月五日の本会常議員会においても、本会にペシャワール会の事務局を置くことを承認するとともに福岡ＹＭＣＡをあげてこの支援活動に参加することを決めました。

中村先生は福岡登高会という登山の会の遠征でパキスタンに行ったとき、そこで見たあまりの貧しさにいったい自分は何ができるかと自問していたそうです。ちょうどそこへペシャワールの病院からＪＯＣＳを通して協力依頼があったのです。偶然の一致というより、中村先生はこれを「神の美しいご配慮」と言っておられます。

中村先生のこの決意にこたえて私たち支援会もこの事業を成功させるためにがんばりたいと思います。趣意書には「われわれもまた国内にあって、彼を支援することを通して、かのアジアの同胞の苦難に想いをいたし、微力を捧げたい……中村医師はわれわれの良心の分身・代弁者であります。」と書かれています。

会費は年額一口千円です。

趣意書、入会申込書などＹＭＣＡにあります。どうぞお申し出下さい。